

2023年3月期第2四半期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社
取締役 専務執行役員 CFO

2022年10月28日



本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

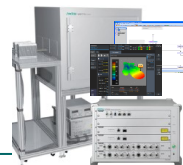
目次

1. 事業概要
2. 2023年3月期第2四半期 連結決算概要
3. 2023年3月期 通期業績予想（連結）
4. 当社の取り組みについて

1. 事業概要

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展



- ▶ モバイル市場 : 5G、5G利活用
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : データセンター、光NW、無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 基地局建設保守、電子部品、無線設備

PQA事業

食の安全・安心



- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機

その他



▶ 環境計測

▶ センシング
& デバイス



(セグメント別売上比率)

2022年3月期 実績 (連結) : 1,054億円

通信計測 70%			PQA 21%	その他 9%
モバイル 57%	ネットワーク・インフラ 26%	エレクトロニクス 17%		

2023年3月期 (4-9月) 実績 (連結) : 540億円

通信計測 67%			PQA 22%	その他 11%
モバイル 55%	ネットワーク・インフラ 27%	エレクトロニクス 18%		

(通信計測事業 地域別売上比率)

2022年3月期 実績

日本 17%	アジア他 45%	米州 24%	EMEA 14%
--------	----------	--------	----------

2023年3月期 (4-9月) 実績

日本 13%	アジア他 46%	米州 23%	EMEA 18%
--------	----------	--------	----------

PQA : Products Quality Assurance

2-1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比受注は6%増、売上は5%の増収。営業利益は28%の減益、当期利益は7%の減益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	548	579	31	6%
売上高	512	540	28	5%
営業利益	75	54	△ 21	△ 28%
税引前利益	75	68	△ 7	△ 10%
当期利益	55	51	△ 4	△ 7%
当期包括利益	58	101	43	74%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入 (前年同期比増減額を除く)

2-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

▶ 通信計測：前年同期比 売上同水準で減益。

▶ PQA：前年同期比増収減益。受注は増加。

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
通信計測	売上高	364	363	△ 1	△ 0%
	営業利益	71	54	△ 17	△ 23%
PQA	売上高	110	119	9	9%
	営業利益	7	5	△ 2	△ 29%
その他	売上高	39	57	18	46%
	営業利益	2	△ 1	△ 3	-
調整額	営業利益	△ 5	△ 5	0	-
合計	売上高	512	540	28	5%
	営業利益	75	54	△ 21	△ 28%

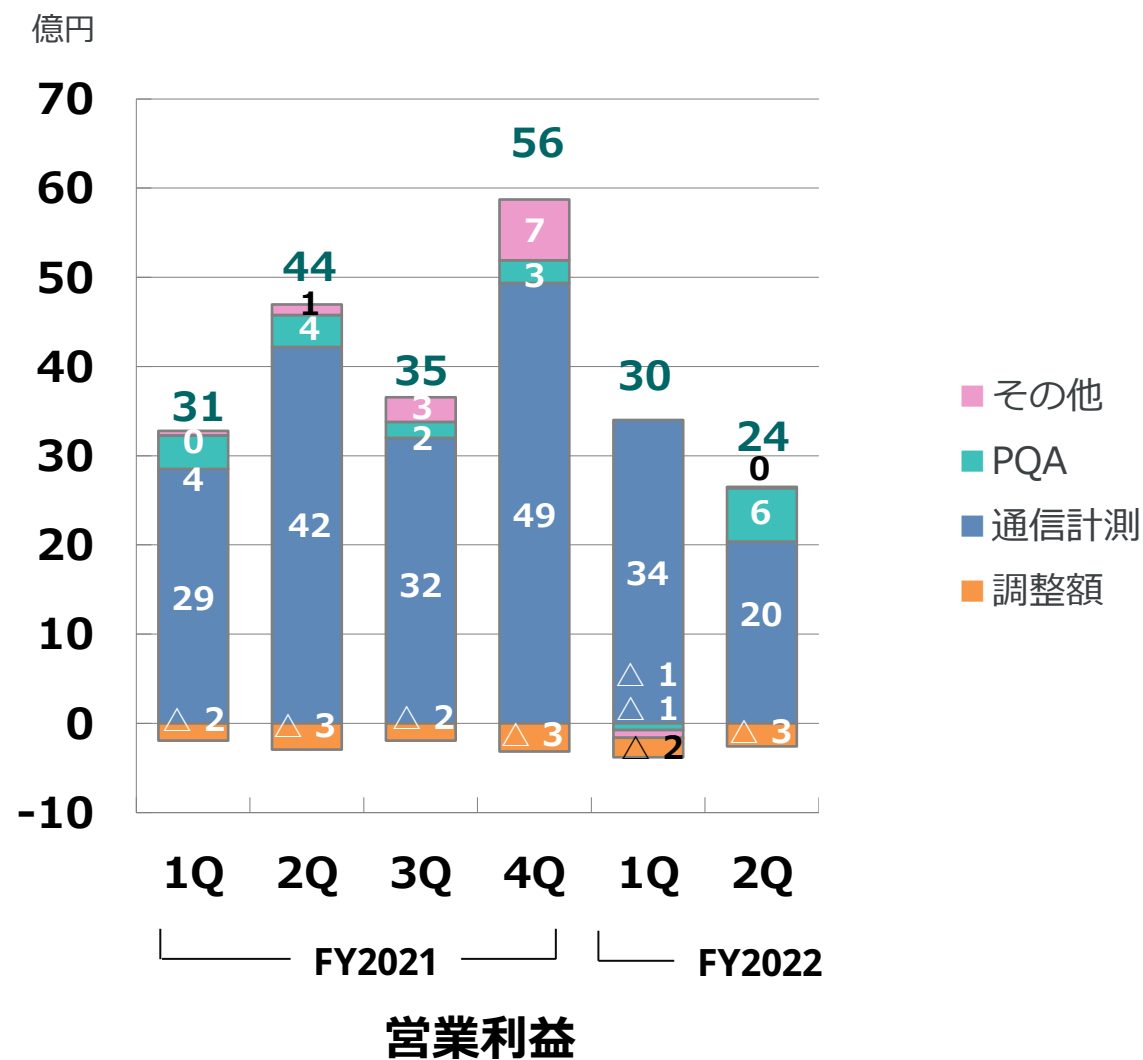
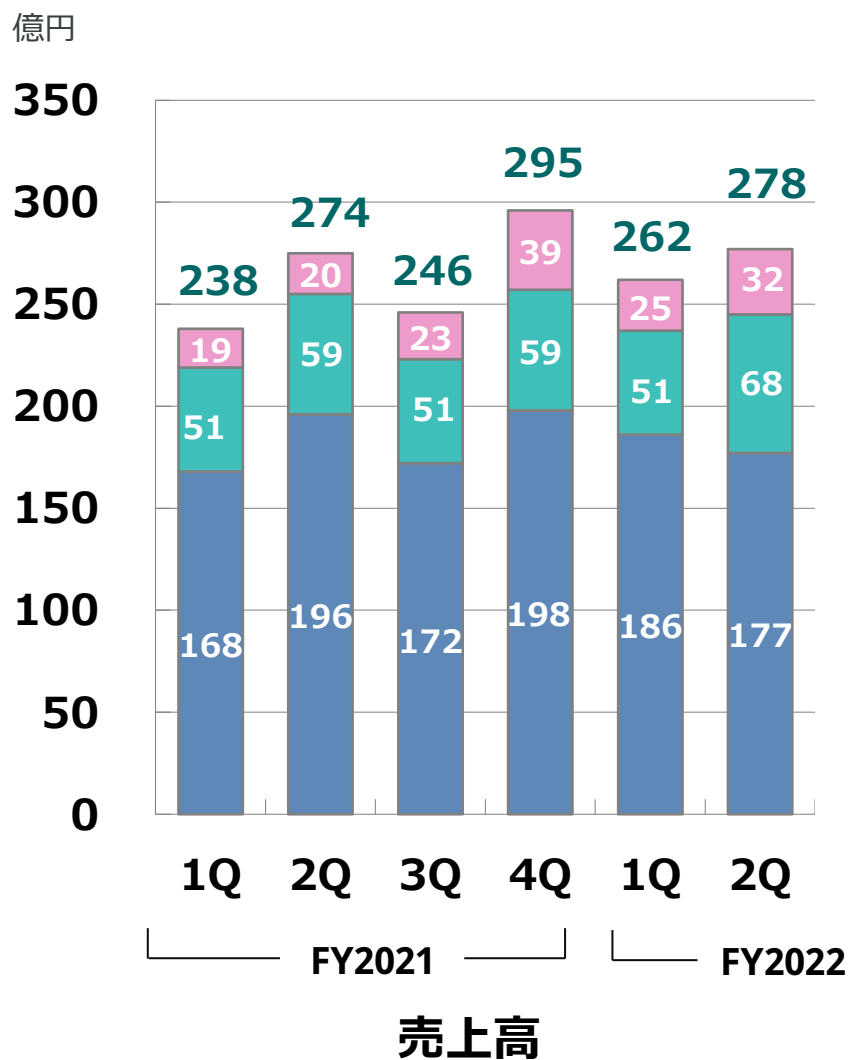
(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

PQA：Products Quality Assurance

2-3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 2Q(7-9月)営業利益率：連結 9%，通信計測 11%，PQA 9%



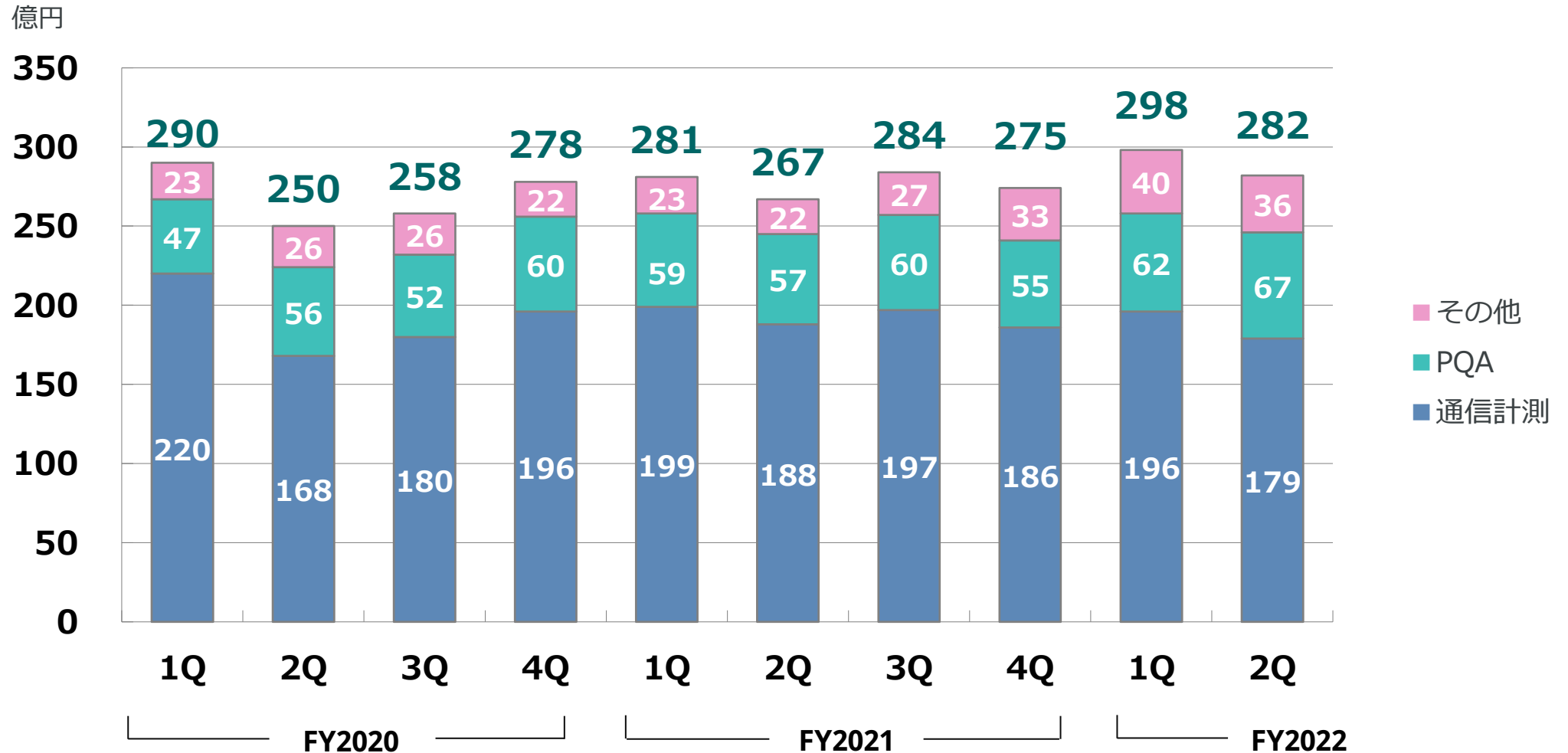
(注) 値はそれぞれで四捨五入

セグメント 2023年3月期（4-9月）の状況	
<p>▶ 通信計測：世界的な物価、人件費上昇等で、顧客は設備投資に慎重姿勢 固定ネットワークの高速化需要は堅調</p>	
モバイル	5G開発は米州市場の拡大に期待するも、投資は遅れ気味
ネットワーク インフラ	米欧中心に固定ネットワークの高速化への投資は順調に推移
アジア他・日本	5Gサービスへの投資増には慎重な見方
アメリカ	固定ネットワーク高速化への投資は順調 5G基地局敷設は進展も、建設保守用測定器への投資はこれから
<p>▶ PQA：アメリカでの需要が堅調、アジア・日本も回復傾向</p>	

2-5. 受注高推移

通信計測：前年同期比 5%減

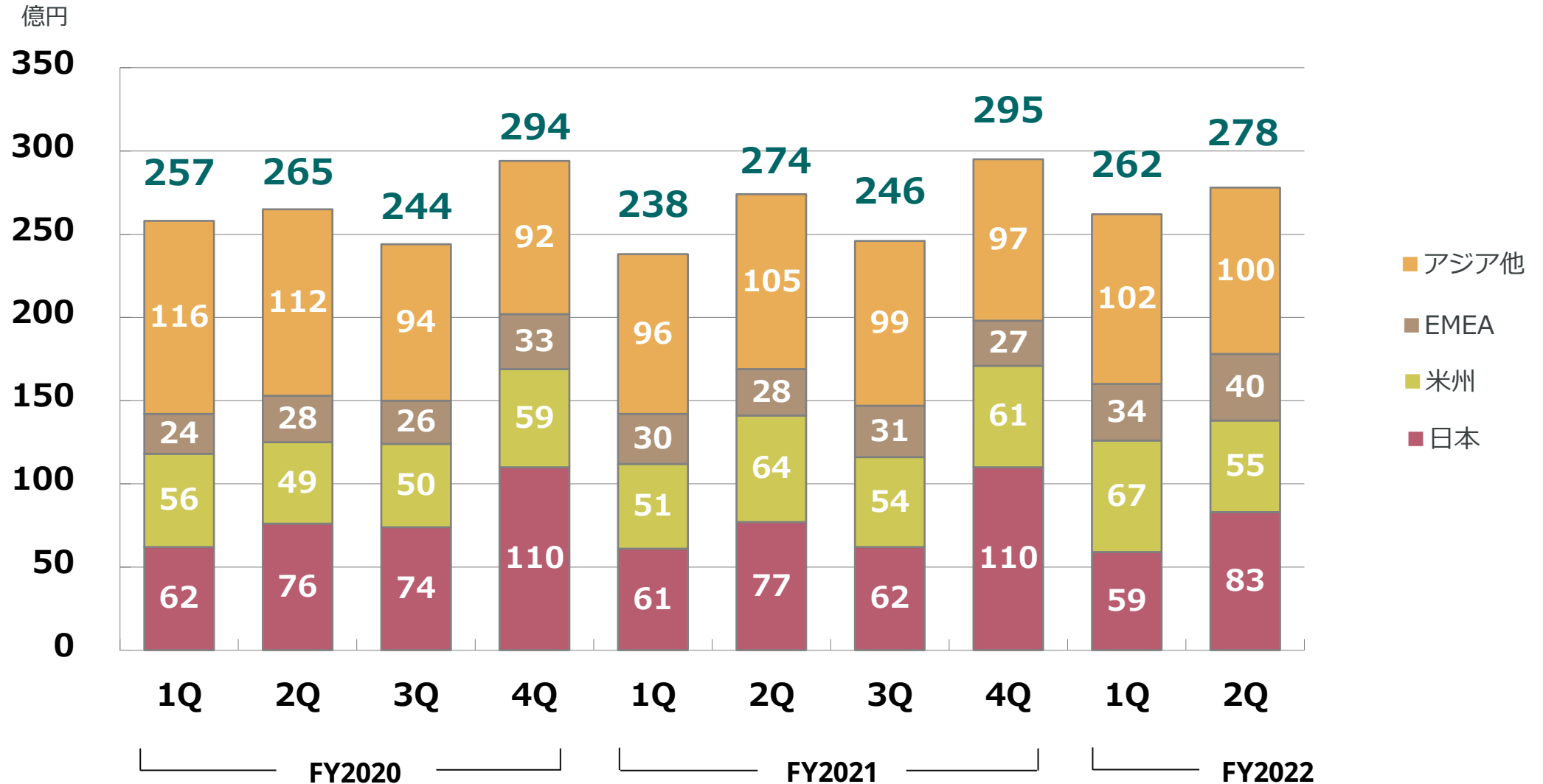
PQA：前年同期比 16%増



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-6. 地域別売上高推移

▶ アジアは高水準を継続



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率 11.9%

FY2022 (4-9月)

① 営業CF : 64億円

② 投資CF : △32億円

③ 財務CF : △82億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②) : 32億円

現金同等物期末残高

430億円

有利子負債高

69億円

(注) 値はそれぞれで四捨五入

内訳

(単位：億円)

売上債権	40				
減価償却	29				
税引前利益	68				
棚卸資産	△27	設備投資	△26		
税金	△19	↑その他	△6		
仕入債務	△20		配当金	△27	
			自己株式	△50	
↑その他	△7		↑その他	△5	
営業CF	64	投資CF	△32	財務CF	△82

3. 2023年3月期 通期業績予想（連結）

- ▶ 2022年4月28日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正
 配当は、期初計画とおり1株当たり年間40円を予定（期末配当：20円）

（単位：億円）

		2022/3期	2023/3期			
		前期実績	通期予想		前期比	
			4/28発表	10/28発表	増減額	増減率(%)
売上高		1,054	1,150	1,150	96	9%
営業利益		165	190	175	10	6%
税引前利益		172	190	190	18	11%
当期利益		128	140	140	12	9%
通信計測	売上高	733	780	780	47	6%
	営業利益	152	175	160	8	5%
PQA	売上高	220	240	240	20	9%
	営業利益	12	13	13	1	11%
その他	売上高	101	130	130	29	29%
	営業利益	11	12	12	1	7%
調整額	営業利益	△ 10	△ 10	△ 10	0	-

（参考） FY21 実績為替レート : 1米ドル112円、1ユーロ131円
 FY22 H1実績為替レート : 1米ドル134円、1ユーロ139円
 FY22 H2想定為替レート : 1米ドル140円、1ユーロ135円

（注） 2022年1月4日に統合完了した高砂製作所の業績は、その他事業に含まれています。

（注） 値はそれぞれの欄で四捨五入（前期比増減額を除く）

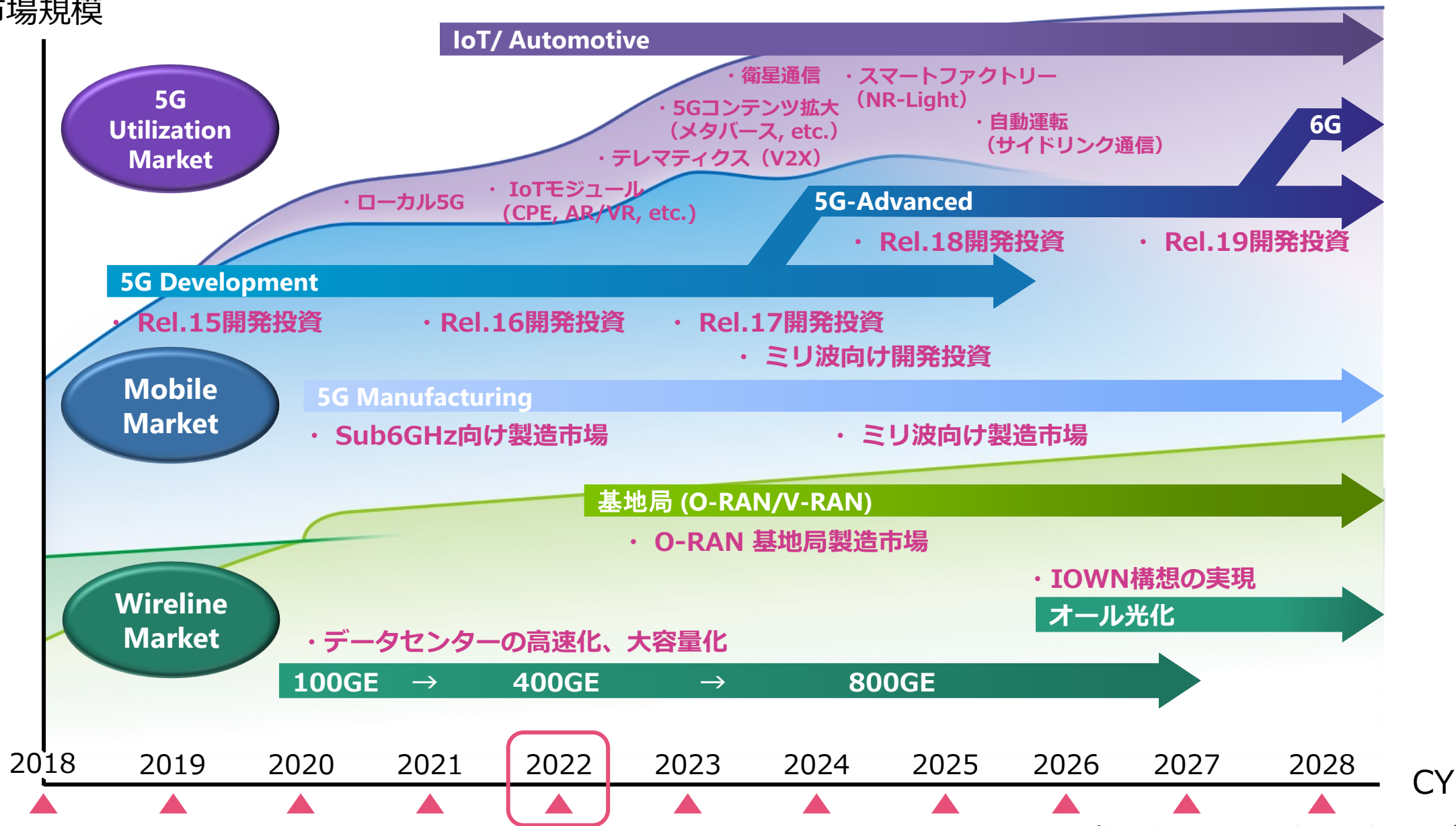
4. 当社の取り組みについて

濱田 宏一

アンリツ株式会社
代表取締役 社長

4-1. 通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模



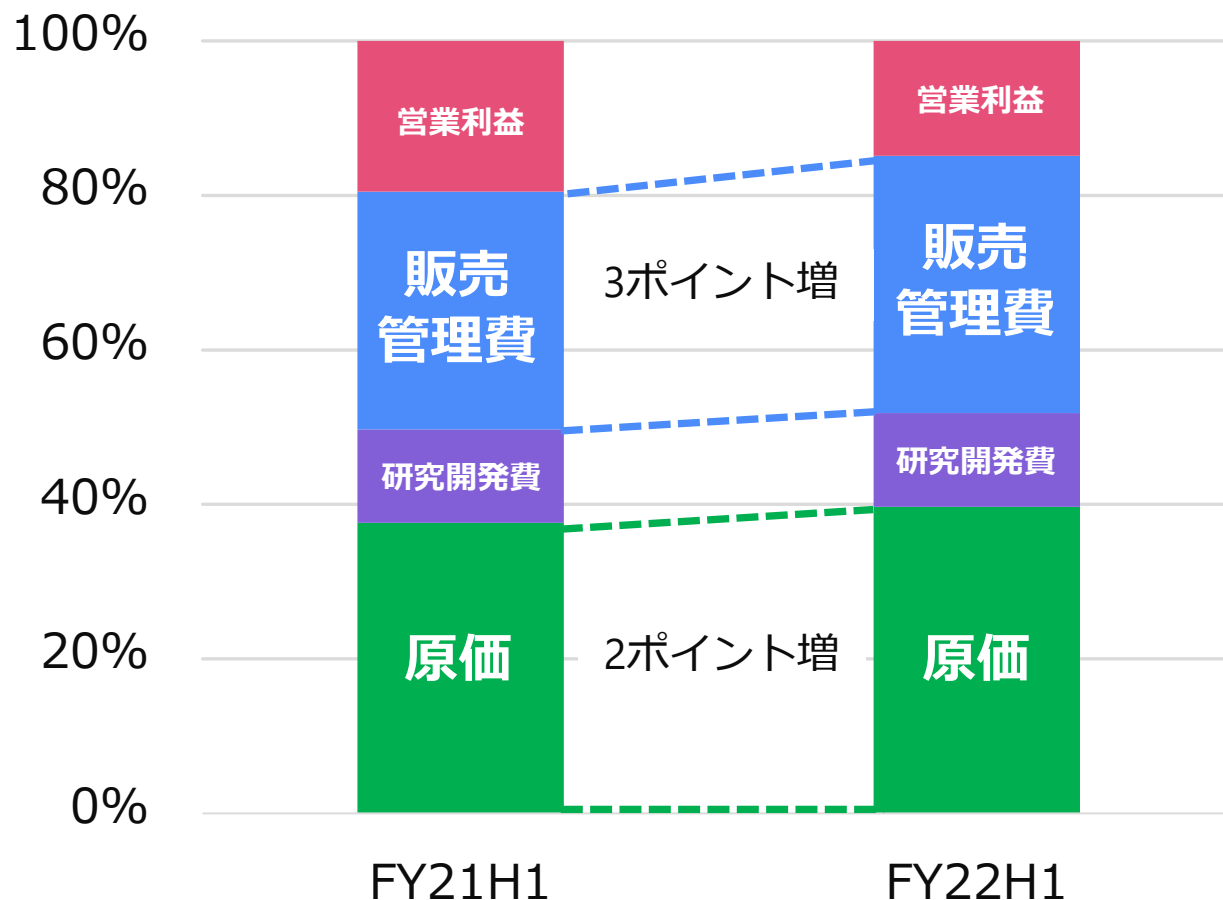
(CPE: Customer Premises Equipment、顧客構内設備)

4-2. 通信計測事業の費用構造悪化の要因

原価増と販売管理費増により営業利益率悪化

通信計測事業の費用構造

FY21H1とFY22H1の比較 (%)



FY21H1比

- 販売管理費 : 3ポイント増
- 原価 : 2ポイント増

4-3. 東北アンリツ第二工場新棟が稼働開始

BCP対策と再エネ自家発電および製造工程自動化推進



自動搬送AGV



通信計測器用検査ロボット

AGV: Automatic Guided Vehicle

- 新棟延床面積約6,400m²
- 水害や地震のリスク低減(主力製品の80%を出荷)
- 再エネ自家発電の推進
- 物品の搬送や製品の出荷検査の自動化推進

Anritsu
Advancing beyond

